

## 会話文のよみわけ練習

名前 )

会話文のよみわけ練習をしましょう。

つぎの会話文を 大きな声と 小さな声との 二つで読んでみましょう。

文のいみや 読みぶり・声のちょうしが ちがってきますね。

(ア) 「なにをやっているの。」

① 大きな声で。ほんとにおこって どなりつけている。

② 小さな声で。やさしく しつもんしている。といかけている。

(イ) 「だれだ。こんなことをした人は。」

① 大きな声で。おこって、どなりつけている。

② 小さな声で。ひとりごととしている。つぶやいている。

(ウ) 「これ 食べちゃ だめ。」

① 大きな声で。「お客さま用です。食べてはだめ。」と めいれいしている。

② 小さな声で。これ 食べたいなあ。おねがい。食べていいでしょう。

(エ) 「これは、なんですか。」

① 大きな声で。「このさまは何ですか」と おこって、しかりつけている。

② 小さな声で。「この へんなもの 何だろうね?」と しつもんしている。といかけている。

(オ) 「わたしが、わるいの。」

① 大きな声で。わたしがわるいなんて、とんでもありません。

おこって、おどろいて いう。

② 小さな声で。わたしが わるいんです。ごめんね、と あやまっている。

